

## ディーラーマニュアル

ロード	MTB	トレッキング
シティツーリング/ コンフォートバイク	アーバンスポーツ	E-BIKE

# クロスバイクホイールセット

- WH-RX830
- WH-RX31
- WH-RX05
- WH-RX010
- SM-RIMTAPE

# 目次

<b>重要なお知らせ</b> .....	<b>3</b>
<b>安全のために</b> .....	<b>4</b>
<b>使用工具一覧</b> .....	<b>7</b>
<b>取付け</b> .....	<b>9</b>
タイヤサイズ .....	9
カセットスプロケットの取付け .....	9
<b>メンテナンス</b> .....	<b>12</b>
スポークの編み方 .....	12
スポークの交換 .....	15
ハブ軸の抜き方 .....	17
分解と組立 .....	18
フリーホイール部の交換 .....	20
チューブレスタイヤの脱着方法 .....	23

## 重要なお知らせ

- ディーラーマニュアルは自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方を対象としています。専門知識のないユーザーがディーラーマニュアルを参照して、部品を取付けないでください。記載されている内容に不明な点がある場合は絶対にご自身で作業しないでください。購入された販売店、または代理店へご相談ください。
- 各製品に付属している取扱説明書もあわせてよくお読みください。
- ディーラーマニュアルに書かれていない製品の分解、改造はおこなわないでください。
- 全てのマニュアル、技術資料はウェブサイト <https://si.shimano.com> でご覧いただけます。
- インターネットのご利用が難しいお客様から、印刷されたユーザーマニュアルを問い合わせいただく場合があります。シマノ代理店またはシマノ営業所に印刷版のユーザーマニュアルをお申し付けください。
- 地域のルールや法律に従って製品をご使用ください。

安全のため、必ずこのディーラーマニュアルをよくお読みの上、正しくご使用ください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

### 危険

「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。

### 警告


「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

### 注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

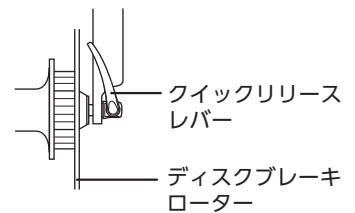
## 安全のために

## 警告

- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書の指示に従う。  
その際、シマノ純正部品を使用してください。製品や交換部品が不適切に組立て、調整されていると、製品の不具合を招き、転倒して重傷を負う場合があります。
-  部品の交換など、メンテナンス作業中は、適正な目の保護具を着用する。

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください。

- 乗車前に車輪が固定されていることを確認する。クイックリリースレバーの使用方法を誤りますと車輪の脱落などにより転倒や衝突して重傷を負う可能性があります。
- 競技などの過酷な用途での使用はしない。  
このホイールセットはレクリエーションを目的に設計されています。車輪が破損して転倒するおそれがあります。
- 乗車前にはスポークの折れ、緩み、リム面のへこみ、傷、割れなどがないかどうか車輪を点検する。これらの症状がある場合は使用しないでください。車輪が破損し、転倒するおそれがあります。なお、カーボンの剥離やクラックなども点検してください。
- 製品の取扱説明書を十分に読んで正しく使用する。クイックリリースの使用方法を誤りますと車輪の脱落などにより重傷を負うことがあります。
- リムブレーキで使用しない。この車輪はディスクブレーキ専用車輪です。リムブレーキには対応しません。
- 手のひらを使ってクイックリリースレバーを力いっぱい強く締めても、クイックリリースレバーがディスクブレーキローターに干渉しないことを確認する。  
ディスクブレーキローター側にクイックリリースレバーがある場合はディスクブレーキローターと干渉するおそれがあり危険です。ディスクブレーキローターに干渉する場合は使用を中止して販売店または代理店へご相談ください。



## 注意

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください。

- リムには高圧に耐えうるリムテープを使用する。また、一度車輪から取外したリムテープの再使用をしない。リムテープの特性を十分に理解せず使用した場合、突然のパンクにより転倒などのおそれがあります。
- リムテープを交換する際はリムサイズに合ったものを使用する。サイズが合わないリムテープを使用すると、突然のパンクにより転倒などのおそれがあります。
- タイヤに表示されている適切な空気圧で使用する。
- タイヤシーラントを使用する場合は、販売店または代理店へ相談する。タイヤやリムにダメージを与えるおそれがあります。

## ■慣らし運転

- 慣らし運転がすすむにつれブレーキ制動力が上がるので注意を払い順応する。自転車のコントロールを失い転倒や衝突により重傷を負う可能性があります。(ブレーキパッドまたはディスクブレーキローターを交換した場合も同様)

## 使用上の注意

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください。

- 本ディーラーマニュアルで指定しているグリス以外(オイルを含む)は使用しないでください。
- 初期フレが出た場合か、使用開始から1,000 km走行を目安に販売店でスポークテンション調整をお勧めいたします。
- リムのステッカーが剥がれますので洗浄液や薬品などを使用して車輪を拭かないでください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の経年劣化は保証いたしません。
- 最大限の性能を発揮するために、シマノ製の潤滑剤とメンテナンス製品の使用を強くお勧めします。

### 自転車への組付け、整備に関する事項



- シマノ製純正のスポーク、ニップルのみを使用してください。ハブ体のスポーク挿入部分を破損するおそれがあります。
- 車輪の回転が重くなった場合は点検してください。
- 対応リフレクター、スポークプロテクターはスペック表(<https://si.shimano.com>)でご確認ください。

手順の説明を主体としていますので、製品イメージが異なる場合があります。

# 使用工具一覽

## 使用工具一覧

製品の組立には下記の工具が必要です。

工 具		工 具		工 具	
	5 mm六角レンチ		13 mmハブスパナ		TL-LR15
	10 mm六角レンチ		15 mmハブスパナ		TL-SR21
	14 mm六角レンチ		17 mmハブスパナ		
	スポークプラグレンチ		モンキレンチ		

取付け



# 取付け

## ■ タイヤサイズ

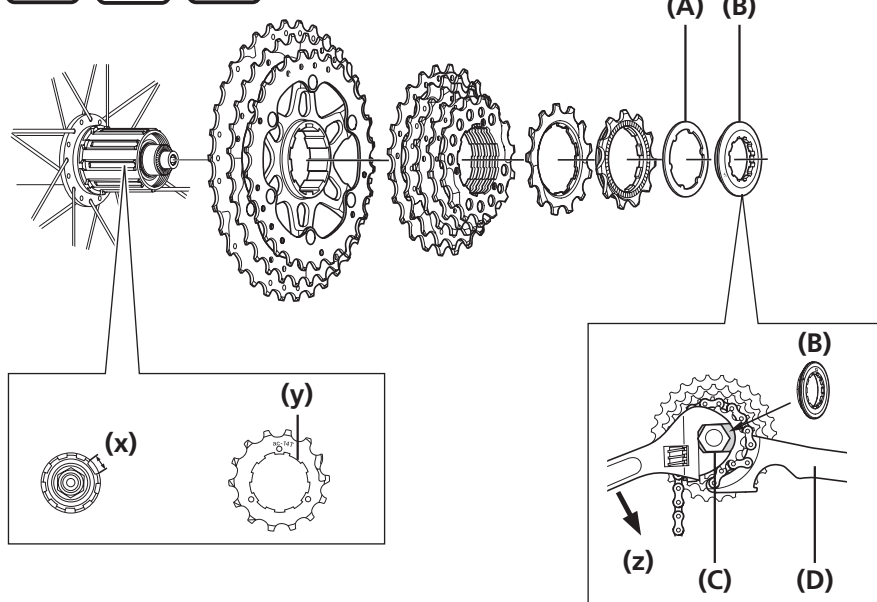
各ホイールの推奨組付けタイヤサイズは以下のとおりです。

モデル名	タイヤサイズ
WH-RX830 WH-RX31 WH-RX05 WH-RX010	(622) 25C-38C

## ■ カセットスプロケットの取付け

各スプロケットとも刻印のある面をトップ側にし、フリーホイール部の(x)部(溝幅が広いところ)とスプロケットの幅広部を合わせてセットしてください。

- HGスプロケットの取付けはシマノ専用工具TL-LR15でロックリングを締付けます。
- HGスプロケットの交換は、シマノ専用工具TL-LR15とTL-SR21でロックリングを外します。



(x) 1ヶ所だけ溝幅が広い

(y) 幅広部

(z) 分解

(A) ロックリング間座

(B) ロックリング

(C) TL-LR15

(D) TL-SR21

### 締付けトルク



30 - 50 N・m

\* カセットスプロケットのイラストは一例です。詳細は使用されるカセットスプロケットのディーラーマニュアルまたはユーザーマニュアルをご確認ください。

## 取付け

### ▶ カセットスプロケットの取付け

## < WH-RX830 / WH-RX31 / WH-RX010 >

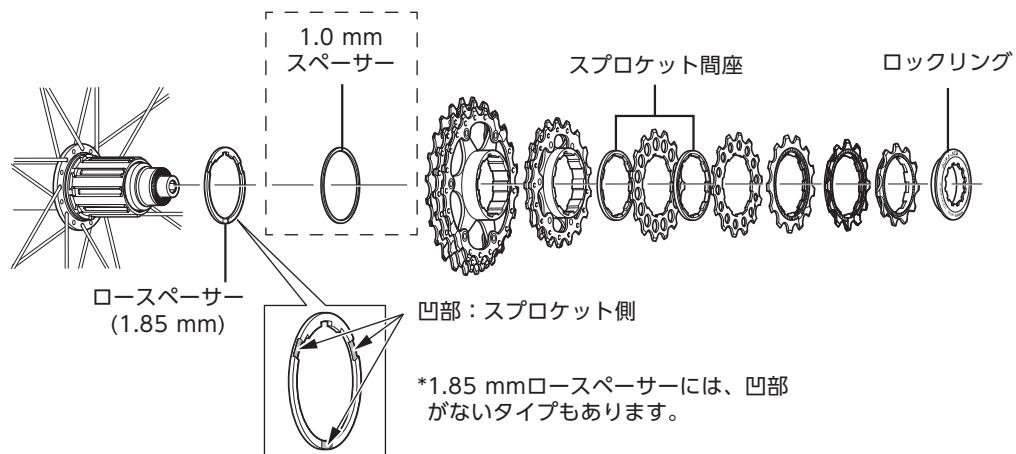
### 使用上の注意

10段用カセットを取付ける場合：

付属の1.85 mmロースペーサーを図の位置に取付けてください。

**CS-7900 / CS-7800 / CS-6700 / CS-6600 / CS-5700 / CS-5600 :**

カセットに1.0 mmスペーサーが付属されています。合わせて取付けてください。



\* ディスクブレーキローターの取付けは基本作業書のディスクブレーキの項目を参照してください。

# メンテナンス

# メンテナンス

## ■ スポークの編み方

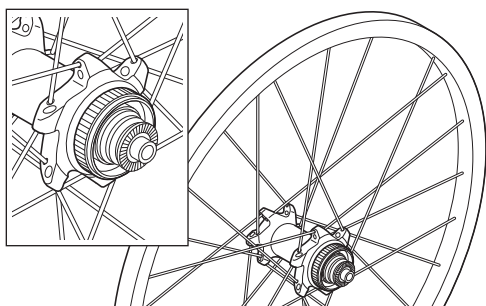
図のように編んでください。

### WH-RX830

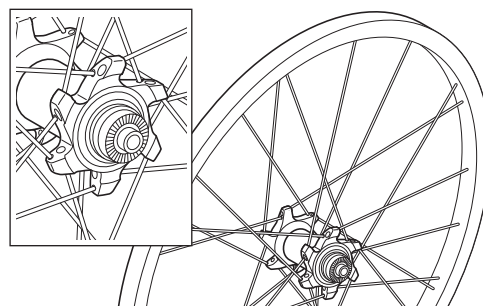
スポーク数：24本

#### 前用

左側

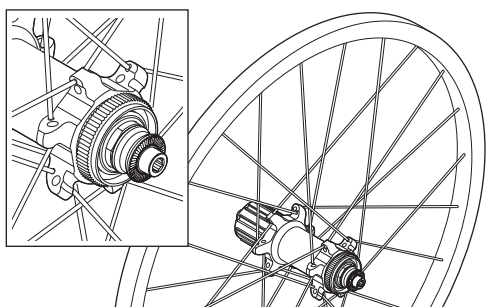


右側

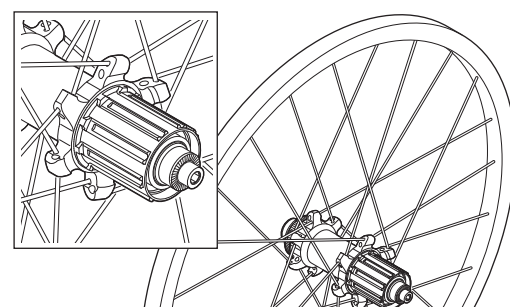


#### 後用

左側



右側



#### スポークテンション値

前用		後用	
右側	左 (ディスクブレーキ ローター) 側	右 (スプロケット) 側	左 (ディスクブレーキ ローター) 側
600 - 1,000 N	800 - 1,350 N	900 - 1,350 N	600 - 900 N

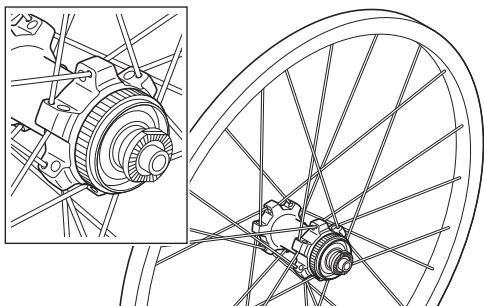
※ この数値は目安です。

# WH-RX31

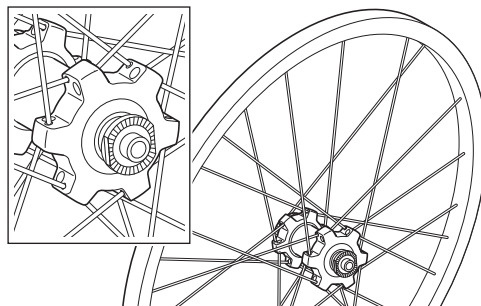
スポーク数：24本

## 前用

左側

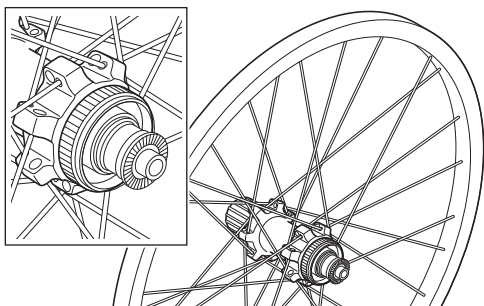


右側

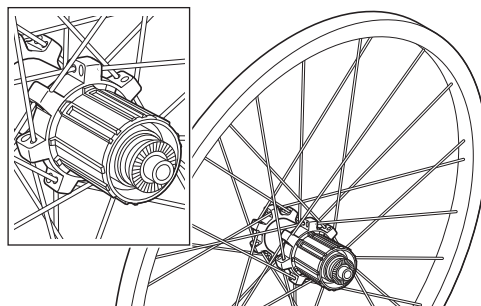


## 後用

左側



右側



### スポークテンション値

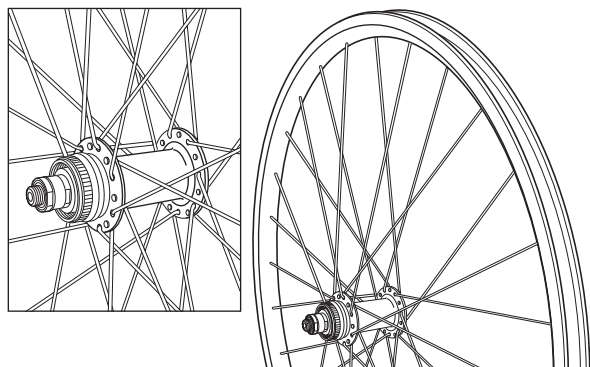
前用		後用	
右側	左 (ディスクブレーキ ローター) 側	右 (スプロケット) 側	左 (ディスクブレーキ ローター) 側
600 - 900 N	900 - 1,300 N	1,000 - 1,400 N	600 - 900 N

※ この数値は目安です。

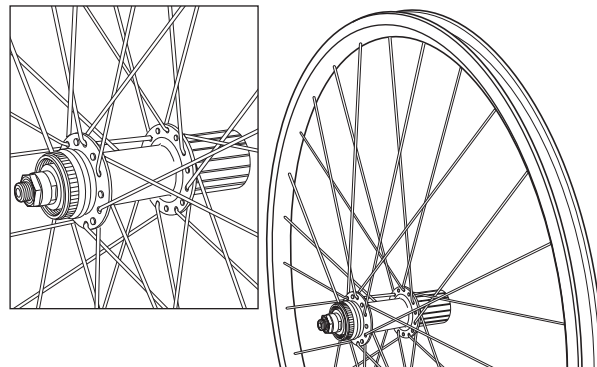
WH-RX05 / WH-RX010

スポーク数：28本

前用



後用



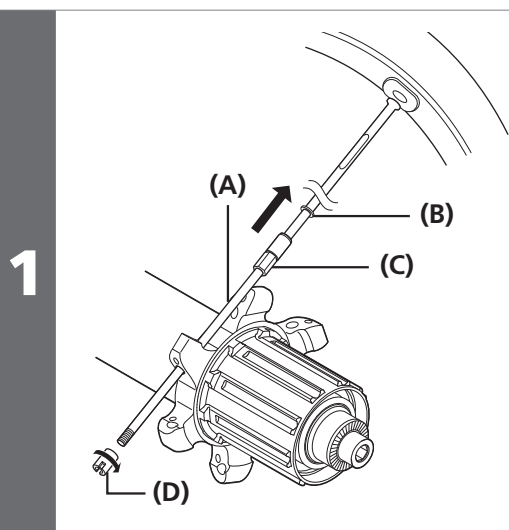
スポークテンション値			
前用		後用	
右側	左 (ディスクブレーキ ローター) 側	右 (スプロケット) 側	左 (ディスクブレーキ ローター) 側
<WH-RX05> 450 - 800 N	< 1400 N (MAX-MIN ≤ 400 N)	< 1400 N (MAX-MIN ≤ 400 N)	<WH-RX05> 450 - 800 N
<WH-RX010> 500 - 850 N			<WH-RX010> 500 - 836 N

※ この数値は目安です。

## ■ スポークの交換

図のようにハブにスポークを通して取付けます。

### WH-RX830



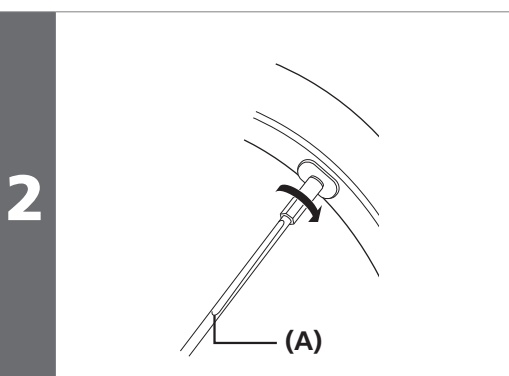
スポークに、ワッシャー、スポークプラグを通します。

ハブフランジの穴にスポークを通した後、ハブナットを組付けます。組付けるときにはスポーク回り止め工具を使用してスポークが回らないように固定し、ハブナットの溝にマイナスドライバーなどを使用してハブナットをねじ込んでください。

- (A) スポーク
- (B) ワッシャー
- (C) スポークプラグ
- (D) ハブナット

#### 使用上の注意

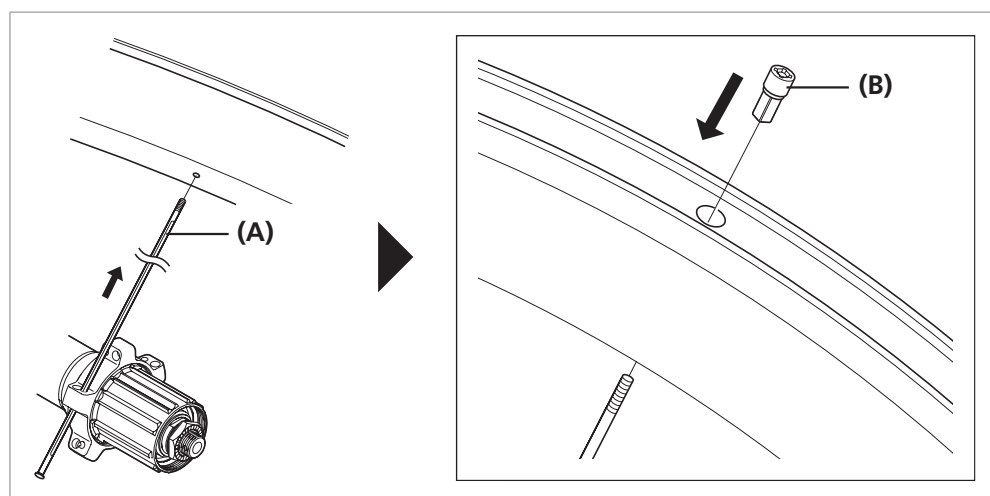
- ワッシャーを忘れるとスポークテンションの調整ができなくなりますので必ずワッシャーを入れてください。
- ハブナットはねじ山の最後まで締込んでください。



スポークプラグをリム側のねじ穴へ時計回りにねじ込みます。このときスポーク回り止めを使用して、スポークが回らないようにしてください。

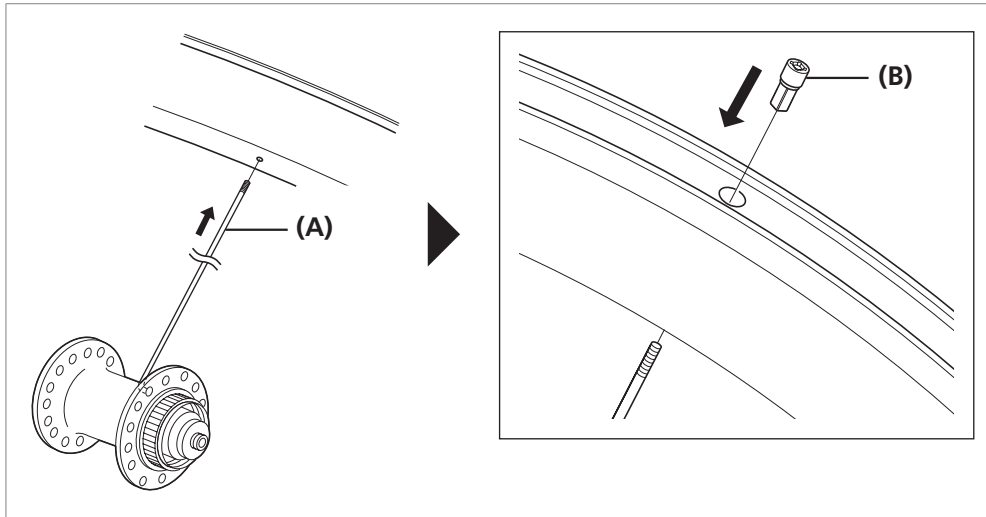
- (A) スポーク回り止め

### WH-RX31



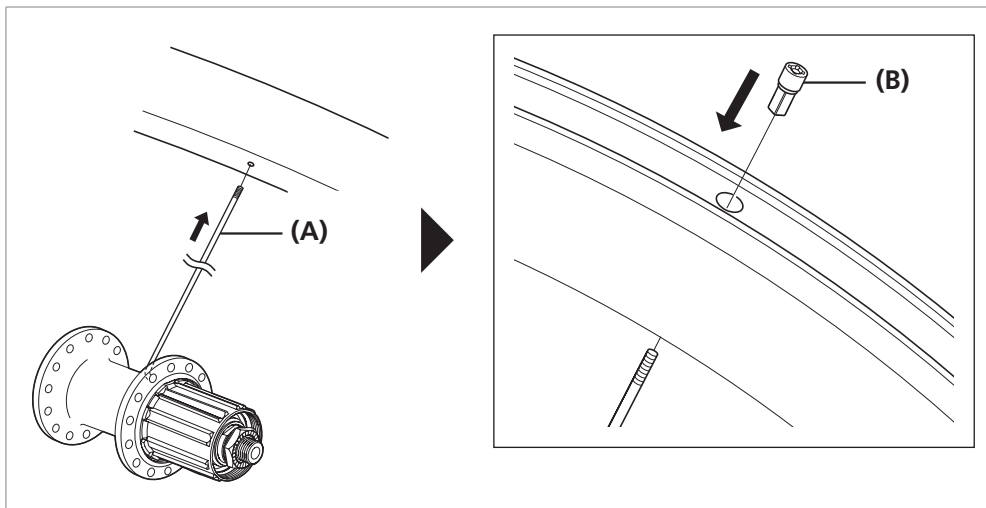
- (A) スポーク
- (B) ニップル

WH-RX05 / WH-RX010



(A) スポーク

(B) ニップル



(A) スポーク

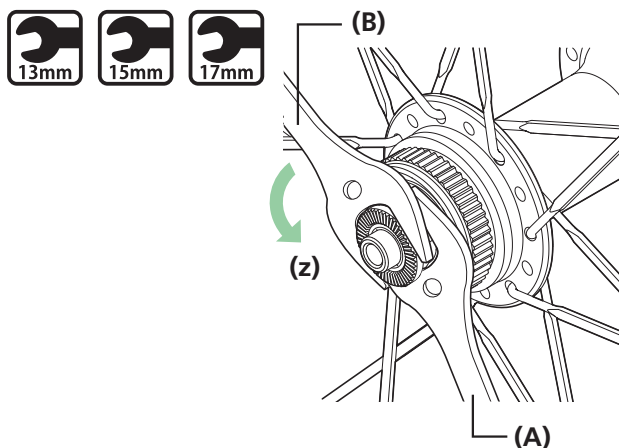
(B) ニップル



## ■ ハブ軸の抜き方

WH-RX31 / WH-RX05 / WH-RX010

1



(z) 分解

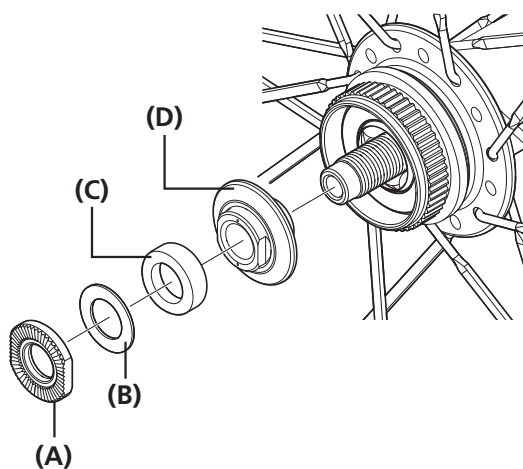
- (A) 13 mmハブスパナ  
(フロント)
- 15 mmハブスパナ (リア)
- (B) 17 mmハブスパナ

締付けトルク



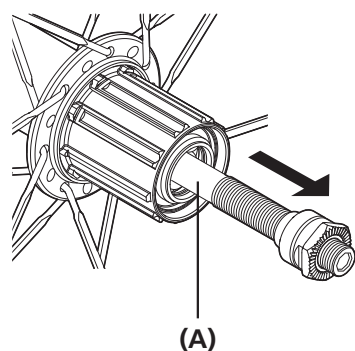
15 - 17 N·m

2



- (A) ロックナット
- (B) ワッシャー
- (C) 軸間座
- (D) 玉押し

3



(A) ハブ軸

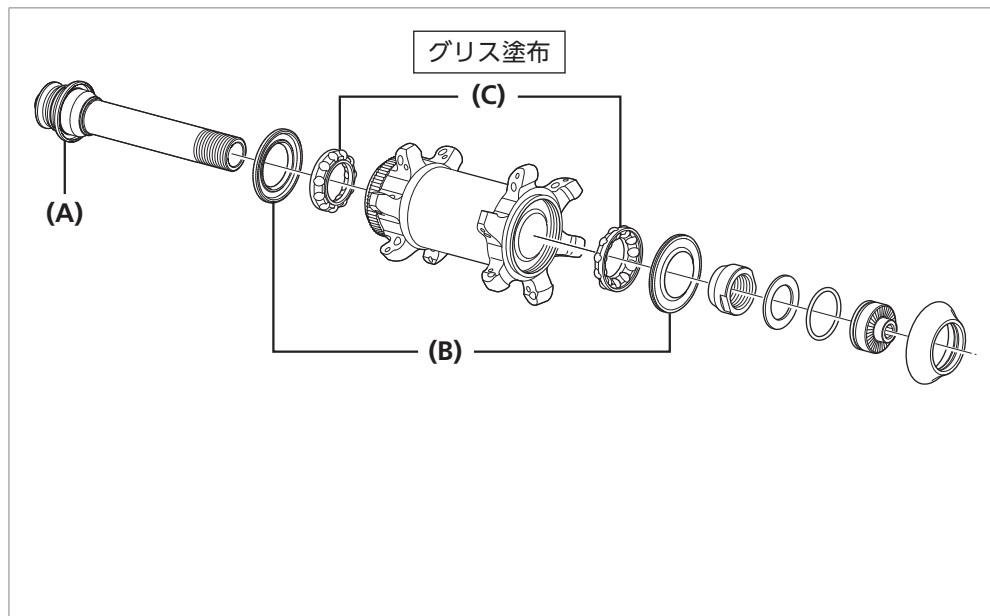
\* イラストはリア側です。

## ■ 分解と組立

### WH-RX830-TL-F

#### < 分解 >

図のように分解できます。定期的に各部のグリスアップをしてください。



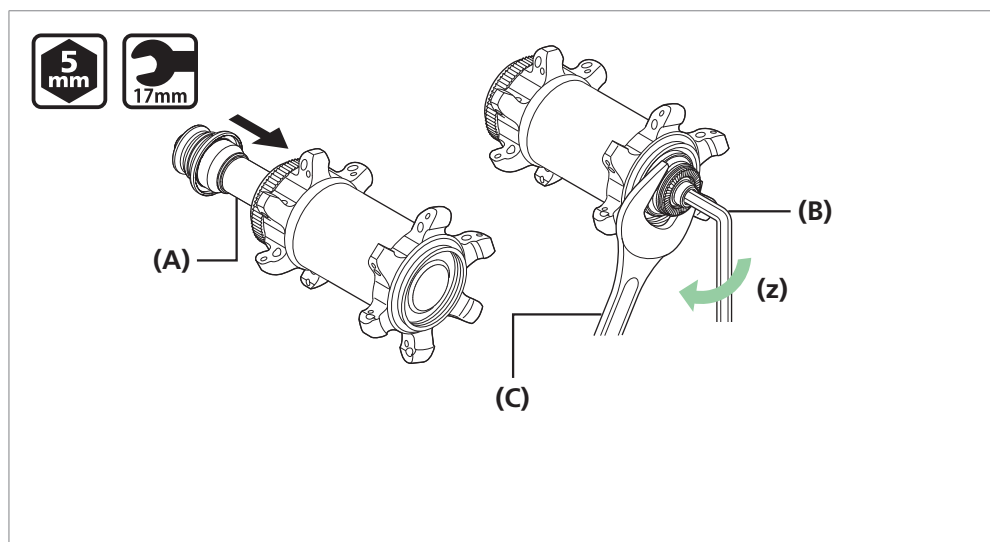
- (A) 防水カバー
- (B) シール
- (C) プレミアムグリス  
(Y-04110000)

#### 使用上の注意

- フロントハブはハブ体左側（ディスクブレーキローター固定スプライン側）からの分解はできません。
- シール部の脱着は変形に十分気をつけて慎重におこなってください。再組立時にはシールの表裏を確認し、奥の当たりまで組付けてください。
- ハブ軸にかしめている防水カバーは分解しないでください。

#### < 組立 >

図のようにハブ軸を取付け、17 mmハブスパナと5 mm六角レンチを使用してロックナットを締付けダブルロックしてください。



#### (z) 締付け

- (A) ハブ軸
- (B) 5 mm六角レンチ
- (C) 17 mmハブスパナ

#### 締付けトルク

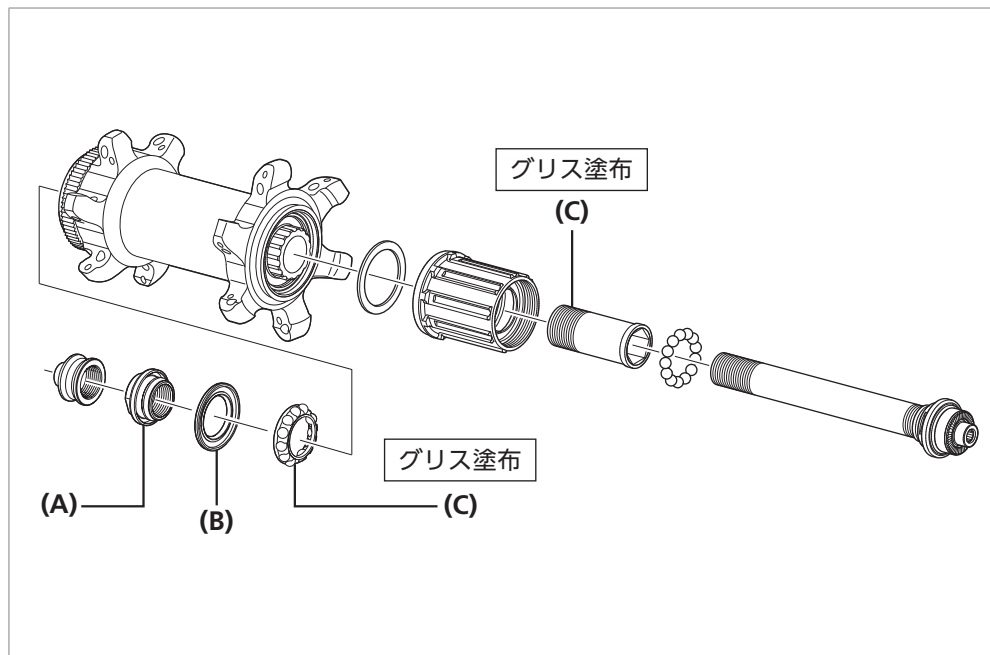


15 - 17 N·m

# WH-RX830-TL-R

## < 分解 >

図のように分解できます。定期的に各部のグリスアップをしてください。



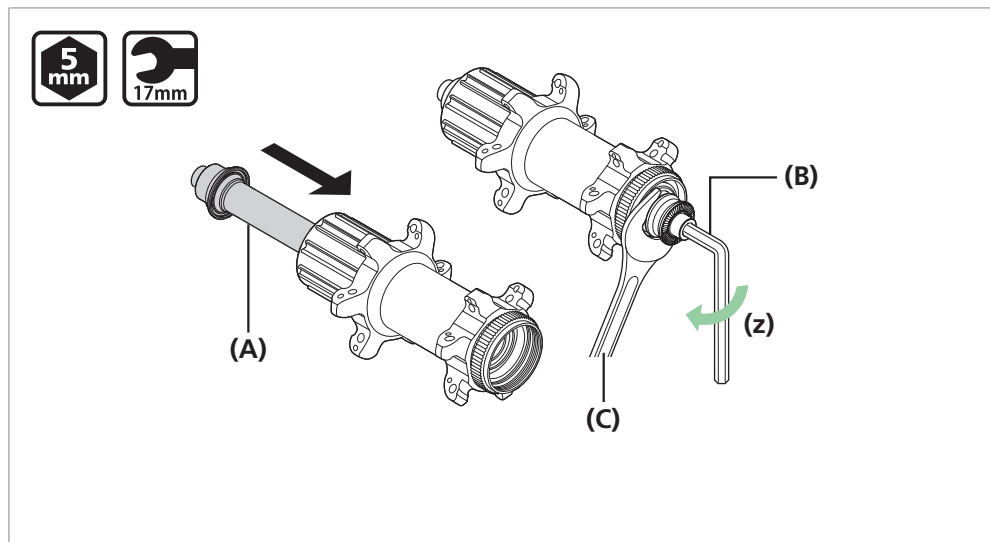
- (A) 防水カバー付玉押し  
(分解不可)
- (B) シール (リップ側が外側です)
- (C) プレミアムグリス  
(Y-04110000)

### 使用上の注意

- シール部の脱着は変形に十分気をつけて慎重におこなってください。再組立時にはシールの表裏を確認し、奥の当たりまで組付けてください。
- 玉押しにかしめている防水カバーは分解しないでください。
- フリーホイール部の分解は、トラブルの原因となりますのでおこなわないでください。

## < 組立 >

図のようにハブ軸を取付け、17 mmハブスパナと5 mm六角レンチを使用してロックナットを締付けダブルロックしてください。

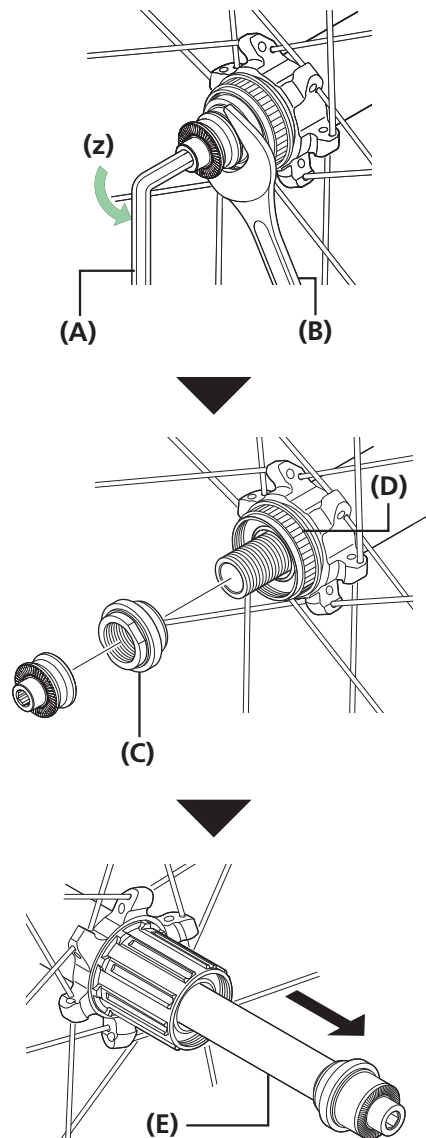


- (z) 締付け
- (A) ハブ軸
- (B) 5 mm六角レンチ
- (C) 17 mmハブスパナ

締付けトルク	
 5 mm  17mm	15 - 20 N·m

## ■ フリーホイール部の交換

WH-RX830-TL



最初に図の手順でハブ軸を抜き取ってください。フリーホイール部側のダブルロック部は分解できません。

### (z) 分解

- (A) 5 mm六角レンチ
- (B) 17 mmハブスパナ
- (C) 防水カバー付玉押し  
(分解不可)
- (D) ディスクブレーキローター  
固定スプライン
- (E) ハブ軸

#### 締付けトルク<組立>



15 - 20 N·m

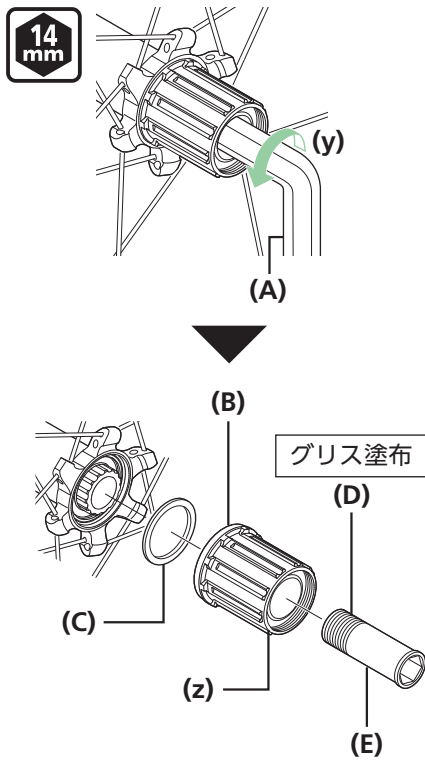


#### 使用上の注意

玉押しにかしめている防水カバーは分解しないでください。

1

2



ハブ軸を抜き取った後、フリーホイール部内のフリーホイール部取付けボルトを外し、フリーホイール部を交換してください。

- (y) 分解
- (z) シールは分解しないでください。

- (A) 14 mm六角レンチ
- (B) フリーホイール部
- (C) フリーホイール部当たり面間座
- (D) プレミアムグリス (Y-04110000)
- (E) フリーホイール部取付けボルト

締付けトルク<組立>



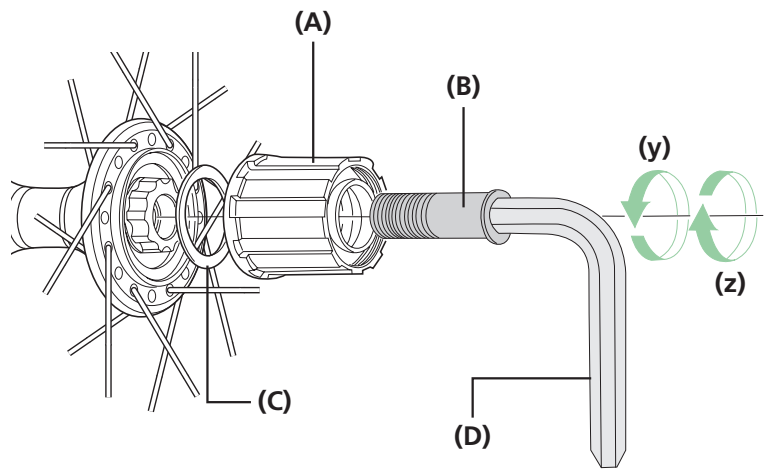
45 - 50 N·m

使用上の注意

- 緩みやかじりつきの原因となりますので、フリーホイール部取付けボルトのねじ部には必ずグリスを塗布してください。
- フリーホイール部の分解は、トラブルの原因となりますのでおこなわないでください。

WH-RX31 / WH-RX05 / WH-RX010

ハブを抜き取った後、フリーホイール部内のフリーホイール部取付けボルトを取外し、フリーホイール部を交換してください。



(y) 分解

(z) 組立

(A) フリーホイール部

(B) フリーホイール部取付けボルト

(C) フリーホイール部当たり面間座

(D) 10 mm六角レンチ

締付けトルク



35 - 50 N·m

使用上の注意

フリーホイール部の分解は、トラブルの原因となりますのでおこなわないでください。

## ■ チューブレスタイヤの脱着方法

安全のために必ずお守りください。

### 警告

- 取扱説明書はよく読んだ後、いつでも確認できる状態にしておく。

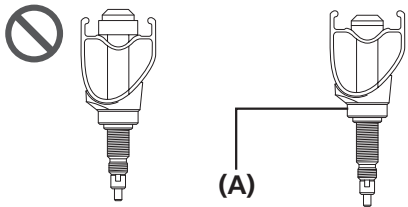
### 注意

- インナーチューブ使用時は、チューブレステープの上にリムテープを使用しない。タイヤの脱着が困難になり、タイヤチューブを傷付けることがあり、突然のパンクによる転倒などのおそれがあります。

### 使用上の注意

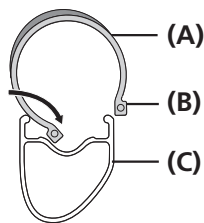
- タイヤの脱着は必ず手でおこなってください。タイヤレバーやその他のツールを決して使用しないでください。タイヤとリムのエアシール部にダメージを与え、空気漏れをおこすおそれがあります。
- バルブロックリングを締め過ぎるとバルブシールが変形して、空気漏れをおこすおそれがあります。
- タイヤがはめにくいときは、水または石けん水を使用して滑りをよくしてください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の経年劣化は保証いたしません。

### 使用方法

1		<p>チューブレスバルブの装着</p> <p>図のようにバルブの向きに注意して取付けてください。 バルブロックリングを締込んだ時にバルブとバルブロックリングが共回りしていないことを確認してください。</p>
---	---	---

(A) バルブロックリング

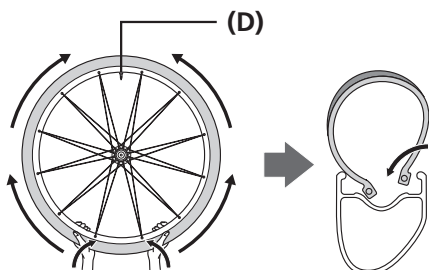
2



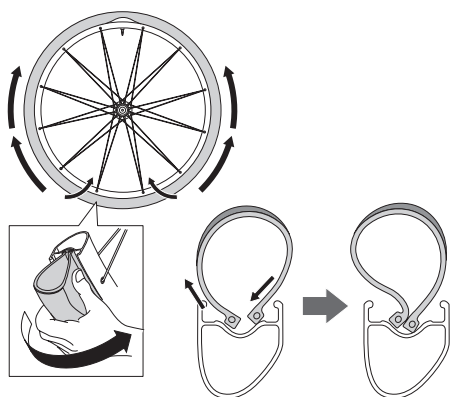
タイヤの装着

図のようにタイヤの片方のビードをはめ込みます。  
このとき、タイヤビード部、リムおよびバルブ部にゴミや傷がないことを確認してください。

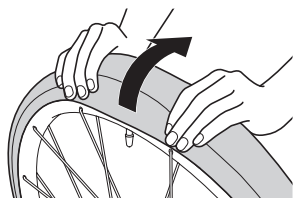
- (A) タイヤ
- (B) ビード
- (C) リム
- (D) エアバルブ



エアバルブの反対側からもう一方のビードをセットします。

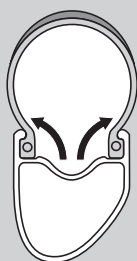


エアバルブ側は入れにくくなります。その場合反対側の入っているほうのビードを手で上に押し上げる動作をエアバルブのところまで繰り返します。

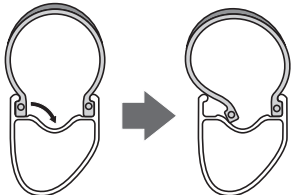
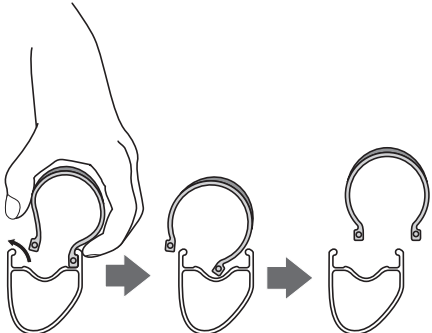


最後に図のように両手でタイヤを握って、タイヤをリムに入れます。

空気を入れてタイヤのビードを図のようにリムにロックさせます。  
この後一度空気を抜いてビードがリムにロックされていることを確認します。  
再度使用される空気圧まで空気を入れてください。  
ビードがロックされていないと空気を抜いたときにビードがリムから外れます。  
(MAX: タイヤ空気圧 800 kPa / 116 psi)






		<p>タイヤの取外し</p> <p>タイヤの空気を抜き、片方のビードをリムの真ん中の溝に落とし込みます。</p>
<p>3</p>		<p>エアバルブ側から片方のビードを取外し、その後もう一方のビードを取外します。</p>

**使用上の注意**

ビードは必ず片側だけ落とし込んでください。両側を落とし込むとタイヤが外しにくくなります。両方落とし込んだ場合は、もう一度空気を入れてビードをロックさせ、タイヤの取外しの最初の手順に戻ってください。

	<p>インナーチューブ使用時の注意</p> <p>エアバルブのロックリングを緩め、エアバルブを外します。</p>	
<p>4</p>		<p>図のようにタイヤの片方のビードをはめ込みます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• リム外周部とタイヤビード部を十分にぬらし、少し膨らませたインナーチューブをタイヤの中に滑らせるように装着します。</li> <li>• インナーチューブのエアバルブがリムに対応するかチェックしてください。</li> <li>• エアバルブの反対側からビードをはめ込んでください。このとき、チューブをはさまないように注意してください。必要であれば、石けん水をご使用ください。</li> <li>• タイヤがロックされるまでインナーチューブを膨らませてください。</li> </ul>		



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口

☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社 **シマノ**

〒590-8577 堺市堺区老松町3丁目77番地